

大島小 学校だより



島っ子だより

第15号 令和元年7月18日 文責 校長 藤瀬 安孝

水泳参観・・梅雨の晴れ間に

6月のプール開きから、体育の授業で練習を続けてきた水泳の学習。その成果を、保護者の方にも見ていただく水泳参観を行いました。梅雨のぐずついた予報の合間を縫って、青空の下、子どもたちの元気な声と水しぶきが、近づく夏の到来を感じさせました。

授業の終盤では、25mや50mを泳ぐプログラムもあり、いつも以上の力を発揮し、この時に初めて25m泳ぎ切った子もいました。

暑い中、たくさんのご声援、ありがとうございました。



もうすぐ夏休み・・



いよいよ明日の終業式で、1学期が終わり、子どもたちは夏休みに入ります。最初と最後に土日がかかるため、44日間の休みとなります。大きな期待とともに、宿題も持ち帰ってきます。担任の先生から配付される「夏休みのくらし」とともに、親子で必ず内容をご確認ください。

各地区で予定されているラジオ体操などへも積極的に参加し、生活のリズムが乱れないよう、お声かけをお願いします。ペースが乱れることで、通常の早起きが辛く感じられ、登校しぶりなどにつながることもあります。2回の登校日と9月2日の始業式の朝、元気に校門をくぐるよう、体と心がいい状態のまま、44日間を過ごせることを願っています。（事件・事故に遭われたり・大きなけがや病気をした際は、学校へご連絡ください。）

【夏休みの家での学習の成果を上げるために・・】

〇長い夏休み。出された課題にどう向き合うか、「やり方」と「気持ちのもち方」で、成果が変わってくることがあります。休みを前にワンポイントアドバイスをご紹介しますと思います。あまり、めんどろなことを、時間がかからないものを選んでいきます。

→ 裏面に載せていますので、ご覧ください。

※ワンポイントアドバイス

①学習する場所について・・・

自分の机でも家族みんなのテーブルでもかまいませんが、テレビを消したり、本を読んだり、周りのご家族の静かな環境づくりへの協力も大切です。学年によって差がありますが、一時間ほど集中して取り組めば、思いのほかはかどるものです。（集中＝他のことを考えない。課題が終わるまで続ける。）限られた時間で課題を済ませられると、心おきなく遊びに出かけられ、頑張ることができた自分に自信がつくはずです。

②取りかかりを見届けて・・・

学習中、ずっと一緒についている必要はありません。取りかかきの最初の数分（鉛筆が動き出すのを）を見届けてください。「はよう勉強せんね」より「始めるとこば見とくけんね」。やり始めたら、「がんばってね」。さっと始めたときには「えらい!」。時計を見て、自分で学習を始めたときは、大いにほめてください。ご不在の場合は「今日は何時から始めた?」とお尋ねいただくだけでもいいですし、兄弟姉妹で一緒に取りかかるようにさせてもいいかもしれません。

③学習した結果を置いておく場所を決めておく・・・

ご家族にその日のがんばりを認めてもらえると、大きな励みになります。時間がないときは、内容を完全にチェックする必要はありません。やっているか、やっていないか、だけでも確認していただくと十分です。学習を終えたら、決められた場所に置く、というパターンの定着を最初の数日でできるようになるとしめたものです。自分で決めた場所にきちんと置いていたら、ほめてあげてください。毎日取り組む内容は、担任からのお知らせでご確認ください。

- 漢字帳など毎日続けるものは、付箋を用意し、その日の始まりと終わりに貼らせておくと、すぐにチェックできます。しおりなどを使ってもいいでしょう。
- 夕食前に、その日の分をチェックし、できていなかったら、食事前にすませる方が望ましいです。こういった、約束事を親子で決め、特に夏休みに入った最初の頃は、しっかり守らせるようにすることが肝心です。

※よい習慣はなかなか身に付きませんが、よい習慣を崩すのは簡単です。夏休みが本格的に始まり、毎日の生活パターンが固まる前に、午前10時までの時間帯に集中して学習に向かう習慣を作ることができれば、あとが楽です。

外出できる午前10時以降の時間を、元気に遊んだり運動したり、時に自由研究や読書などにもはまってみたり・・・学校があるときにはできにくいことに、のびのびと取り組める夏休みになることを願っています。

学校でも十分指導しますが、指導したことを毎日の実行につなげるには、保護者の皆様のお声かけが不可欠です。

楽しさに加え、「意義ある休み」になるよう、どうぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。